

平成 29 年度おだわら市民交流センター UMECO 第三者評価（様式案）

○ 各委員の評価点の平均点

拠点	相談・支援	協働支援	学習体験	交流	情報発信	平均	男女共同	国際
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

誰でも気軽に	シェアしながら	地域の課題を解決する
0.0	0.0	0.0

5 優れている 4 やや優れている 3 概ね適正である 2 改善した方がよい 1 改善が必要である

I 機能の達成状況

(1) 6つの機能

① 拠点機能【0点】

- ・ UMECO 企画展における実績値が目標値の 3 倍であり、達成率の高さは評価できる。
- ・ UMECO 企画展等、事業に参加できる団体が限定されないよう配慮し、その効果を検証するとともに、企業の社会貢献活動等にもその対象を広げていただきたい。

② 相談・支援機能【0点】

- ・ 相談業務については、きめ細かい対応をしていること、相談対応者数を増やす努力をしていることが評価できるので、体制を整え、今後も継続していただきたい。
- ・ 受けた相談を分析し、また問題解決ができたか効果を検証するとともに、とくに資金面における団体の課題解決に貢献できるよう、相談機能の周知や掘り起こしを図っていただきたい。

③ 協働支援機能【0点】

- ・ 交流により互いを知ったり、団体に発表の場を提供することも重要だが、相互のネットワーク形成につながったかどうかなど、各事業の目的を達成できたかを検証する必要がある。
- ・ 地域活動団体ネットワーク形成事業など、事業を担う団体が偏っていることから、コーディネートする側が社会貢献する団体を増やせるよう、調整できると良い。

④ 学習・体験機能【0点】

- ・ 各種講座が充実している点は評価できるが、それぞれの講座の関係性や年間スケジュールを整理し、より効果的な時期や対象、広報手段となるよう精査していただきたい。

⑤ 交流・コーディネート機能【0点】

- ・ 各事業への参加者の増加により、団体同士のつながりや地域活動団体との連携など成果がみられる。
- ・ 現行の事業すべてを UMECO が担うかは検討の余地があり、市民活動団体主催へ移行するような発展があるべきである。
- ・ 交流の先にある目標を意識し、市民と社会をつなげる目的達成につながるよう取り組んでいただきたい。

⑥情報の集約・発信機能【〇点】

- ・さまざまなツールを用いて情報発信を行えているので、今後は企業との連携等、新たな手法を探せると良いのではないかと。
- ・ネットや紙等媒体を問わず反響をリサーチし、有効性や費用対効果の検証を行い、活用をより広げていただきたい。

(2) その他

①男女共同参画【〇点】

- ・重要な問題であるので、単発イベントで終わらせず、また参加者増を目指していただきたい。

②国際交流【〇点】

- ・国際社会とつながる場として、単発イベントで終わらせないよう工夫し、展開していただくことを望む。

II コンセプトの達成状況

①誰でも気軽に つながりを生み出すきっかけの場【〇点】

- ・多くの事業を実施しており、市民活動を知る、始めるきっかけの場として機能していると伺える。
- ・「きっかけ」としての事業は必要なものに絞るとともに、各対象世代に合った対応を図り、最終的に市民活動が社会貢献につながるよう意識していただきたい。

②シェアしながら それぞれの思いが繋がる行動の場【〇点】

- ・団体間の交流やイベントを通し、思いの共有やつながりが感じられる。
- ・交流会など各事業の目的や効果を明確にし、整理しながら確実に実施して、このコンセプトの達成に向けた事業のレベルアップを図っていただきたい。

③地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる実現の場【〇点】

- ・このコンセプトがUMECO事業に最も求められるものであるため、より社会貢献活動につながる事業内容を期待する。
- ・単なる発表の場の提供ではなく、各主体が相互に協力できる体制をとれるよう工夫し、積極的に支援、コーディネートしていただきたい。
- ・各主体がつながり、このコンセプトを達成できたのか、アンケート等を活用し効果を検証できるようにしていただきたい。

まとめ

多くの事業を実施していることは評価できるが、1つ目のコンセプト「誰でも気軽に」に比重が偏っている懸念がある。UMECOに求められる最終的な目標は、3つ目のコンセプト「地域の課題を解決する」であることを再度認識し、事業のバランスを見直していただきたい。

また、事業の効果を客観的に検証するため、アンケート等の活用を検討していただきたい。